

女

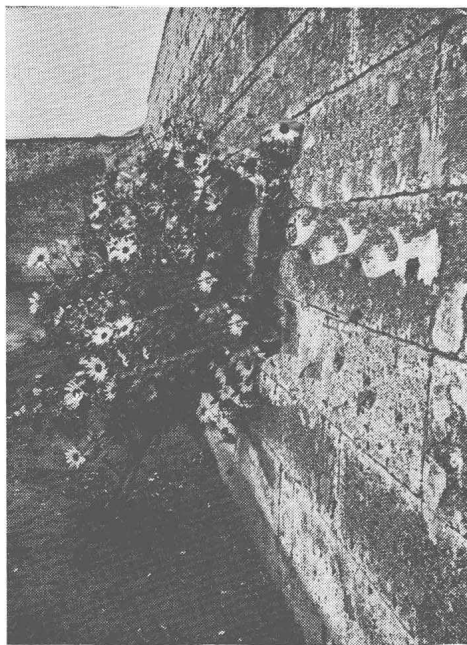
囚

園田てる子

女 囚

園田てる子

人の知らない垣根の中で
咲いていたとて花は花



圭 文 館

女 囚



昭和三十九年二月一日 印刷
昭和三十九年二月十日 発行

©

定価 四五〇円

著者 園田 てる子
発行者 佐々木 義雄
印刷所 明和印刷株式会社

東京都港区芝田村町一ノ一八
発行所 圭文館

振替東京 一〇八一一番
電話五九一―五九三六番

落丁・乱丁はおとりかえいたしません

目

次

ルポルタージュ

メモ 1

和歌山刑務所のメモ……………三

笠松刑務所のメモ……………八

メモ 2

女性から見た男子受刑者の姿……………一〇

人の知らない垣の中で……………一六

―栃木刑務所のルポ―

失われる青春への怒りと悲しみと……………二六

―女子刑務所の記録（和歌山・笠松にて）―

八王子周辺に見る文化国家の度合……………四〇

転落を救うものは誰れ……………四八

―東京婦人補導院を訪れて―

ドラマに見る犯罪心理の例

嫉妬と見栄―桐田朝子の周辺……………五三

B G・加能良子の犯罪……………五九

スミレ色の女——ユリカという女……………一〇九

満たされないお針子の計画……………一三〇

情痴の誤算……………一五〇

異常性格の女のたくらみ……………一八一

ゴルフ練習場の殺意……………一三七

小説・女囚の記録

色のない粉末——同性愛……………二八九

——大町陽子の場合——

火花——通り魔的殺人……………三三一

——泉サチ子の場合——

俗界の天女——恐喝……………三三九

——埼玉万美の場合——

雨の歌は消えず——ひき逃げ……………三六三

——朝見松子の場合——

惨酷と性との戦い——三角関係……………三九七

——香住・ロバートユリの場合——

女

囚

メモ 1

和歌山刑務所のメモ

敷地一万坪 職員約一七〇名

ドイツ建築を思わせ、かつ鉄格子のいかめしさは、元男子重刑者の入所したところであつたためだ。

男子の刑務所八〇以上に比べ女子の場合は四カ所しかない。

地理的にも和歌山は明るく、気候もよい。

所長、女を扱って六年、三田所長で売り出したころ、次長をつとめていた。

創立以来三田所長は十六年間つとめきつた。

ここでは、個人の作業は夜行なわれる。

屋のうちは国家作業で、実働八時間の勤務、休日は、週休となっており、週休にはレクリエーションや自分の休みということになる。

ここの刑務所は、もとより、各女子刑務所はすべて、教育方針もちがう。

ここの所長室は、明るい色彩、赤いクッションも、女囚の手によったものである。

日本人形は長期囚の手になり、おどけた顔のビエロは知能指数五〇以下の精薄児によるものだそうである。（三十四年よりこの作業は始まる）

地域別的犯罪の有能

北陸、四国は純朴である。純朴の生活等のかえって重犯を招きやすい。

中国地方に犯罪は少ない。

また京阪神の女はぬけ目ない、スリ、せつとうなどの軽犯罪が多い。

五〇才以上の女囚もいるが、全般に若々しく、入所は、生活苦、所帯苦のないため、ふとって明るい（麦めしの効用）

だが、ともすると感情的になりがちである。喜ぶのは、幼稚園の子供の踊りなど、童心にかえってのことである。

京阪神をひかえているため麻薬患者は多い。むろん禁断症状のころは、病院に入っているが、

精神面をかなりおかされている。

現在五〇名の麻薬がいるが、患者はひとりもない。万引などスケールの小ささに比べて、麻薬は組織立っている。神戸をひかえて。

万引、スリは美人が多い。

大体、犯罪は左の五つに分けられる。（専門的）

売春

麻薬

性格異常

常習犯罪者

殺人、サギ、スリ

殺人は五〇名

うち、すべて愛情の破たんによるもの四五名で、刑を追ったものは四、五名、これも男に誘われた保険金サギである。

例① B G（二十一才）バスガイド（勝浦）

会社のうりあげを一手に握り

その社の営業係長に誘われ同棲する。

妊娠中絶数回——女性は子供を欲しがる。

男は不要といい、体を悪くする。

男の外泊多く、女が出来ていた。

男の女と会い、かっとして相手を殺す。

ということは、相手の女に侮蔑され、相手の女の方は近く婚約するという。

そのときも女は妊娠している。

女を殺して、すぐに自殺をはかるが、一命をとりとめる。比較的刑は軽い。

おろした子供を思い出し、花まつりの園児のおどりに声をあげて泣いていた。

例② 若妻二十四才 美貌

夫、異常性格の上、急に成功し、女を外に囲う。しかも妻に執念深い。妻は生活を清算しようと、逃げようとまでしたが、ぎやく待され、思いあまって、男を殺傷する。

無期——女、金持の娘

これらの女はすべて、その男だけが、唯一の世界ひとりの男と決めてしまっている。

この女囚たちの部屋は、明るい花模様のカーテンでおおわれている。

家計簿をつけさせ、収支決算させる。

一級者の部屋は、ちょっとしたアパート風である。室内に、洗面所、鏡、ラジオ、床の間から、お茶の道具まである。

もとはトイレつきで、今は押入れになっている。

作業場では、被服、タイツ、真珠、トランジスタなどをやっている。トランジスタは輸出ものとしては最高。

そのほか、和裁、編物もある。

所内は色彩が乏しく、これも前にのべたように、女らしい人形、その他でおぎなっている。

乳育室には子供が四人。

おしめも干してある。

服飾研究室もあり、病舎には結核患者が二名とのことだ。

ここは全般的に、むかしながらの女囚らしいロマンチックなムードをもっている。

廊下を食事をのせた車が走る。

花まつりの映画中であつた。

一級者の下には売春者だけの部屋があり、面会出来ない。一級者たちは、愛想よくお茶を入れ

てくれたり、作業能率を話してくれる。袋（レース）三日に一つ。

おかした罪は重くても、服役態度が立派なら一級者になるし、おかした罪が軽くても、服役態度が悪いと階級は悪い。

みんな明るく愛想よい。

釈放十五日前になると、むつみ寮というところに入れられる。これは、カギもなく一般社会人としてのくらしで、食事も自分でつくり、作業場へかよう。（外の場合もある）

入浴室、洗濯室などあり、寮母日記もつけている。ここでは寮母の監督下に入る。

笠松刑務所のメモ

活気にあふれ、設備のよいこともその一を誇る。（新築の女性補導設備多し）

主として五〇才以下の若い女囚。

六年以下の刑期（最高十二年の刑の者もなかにはいるが）

花まつりの行事とともに参加。

ここでは類犯が多く、軽犯罪になれきっているものも多い。

ここでもそうだが、必要以上すぎるくらい人権は尊重されている。

花まつりの宗教の話もあらかじめ、きくかどうか可否をとる。

すべて自発的のことは行われ、洋裁、音楽、コーラス、その他あらゆる面にひいでている。

ちよう罰のときは、それを身をもって服役させるだけで、それほどの言葉のうえでの叱りはない。

麻薬が多い。八十二名。せつ盗五〇名。

ここでの家事補導サービスセンターは、まるで女子大のような組織で、あらゆる分野にわたって、家庭婦人になることの完全さをおしえている。和歌山の人形づくりに比して、ここでは、お手つだいさんの専門である。

が、美容院は、学校としての認可もえている。

また釈放前のひかり寮では、テレビはもとより、外部にニュース（ふつうは心理の動揺をおそれて知らせない）から、一般化粧など、すべてそろへている。

一流の洋食、日本間の礼義もここでは教えこまれる。

分類課長（女）に会う。彼女によって

将来のテスト

職方針

釈放に関する手つどきなどが行われる。

メモ 2

女性から見た男子受刑者の姿

女性と男子受刑者との関係

福岡藤崎刑務所にての一回一答

・ 女と男の犯罪のちがい

女が執念深いのに対し、男は粗暴、行動的である。

。所に入る男は女を信じているか？

一応信じてはいる。しかし最近ではあまりに女からの離婚問題が多い。

そもそも男の犯罪は、生活問題ととりくんで行なわれるのである。そんな点で、受刑者は（内縁も含めて）、家内だけは——と、それによりかかっている。そんなときに女の方から離婚問題がおこると、そうでなくても内攻的になっているのに、いっそう心理状態がおかしくなってくる。ただし、売春の場合のように、男がヒモとなって女をあやつっている場合には、女は最初の場合はいったん補導委員の手によるが、男ははじめから刑法にふれる。（売春あっせんとして——）また所に入ると、やたらに女にコネをつけたがり、社会にいるときキャバレーで一度しか会ったことのない女を内妻よばわりして女に叱られることもある。

。所に入る男の性格的な種類

意志薄弱であることにつきる。

。九州という地に、特別な犯罪はあるか？

女にしろ、男にしろ

炭鉱地帯であるため、荒っぽい。暴力犯と行動的な犯罪が多い。

よいにつけ、わるいにつけ、九州男子が、その力づよい性格を現わしている。